

主要な農業生産システムが直面するリスク

Global Distribution of Risks Associated with Main Agricultural Production Systems



過去 50 年間にわたり、農業技術の進歩は食料生産を飛躍的に拡大させ、世界の食料安全保障を支えてきました。しかしながら多くの国では、集約的な作物生産や経済発展に伴う土地利用の変化、さらには気候変動による影響により、農業生産は土壌劣化をはじめとするさまざまな制約に直面しています。世界の人口が 2050 年までに 90 億

人をを超えることが予想され、食料への需要がますます高まるなか、世界の食料安全保障はすでに食料生産に使われている土壌を活用しながらいかに収量を増やし質を高めていくかにかかっています。

FAO は、生産性を改善するために世界各地で行われているさまざまな農法——アグロエコロジーや環境保全型農

業、有機農法、不耕起栽培、アグロフォレストリーなど——に注目し、小規模農家がこうした農法を取り入れ実践していくための支援に力を入れています。

関連ウェブサイト

国際土壌年 2015 公式サイト (英語ほか) : www.fao.org/soils-2015

FAO : Save and Grow : www.fao.org/ag/save-and-grow

凡例

- 洪水／海面上昇
- 水不足
- 汚染
- 生物多様性の喪失
- 森林減少
- 砂漠化／干ばつ
- 土壌肥沃度の喪失／劣化
- 土壌浸食
- 土地不足
- 耕作地